

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年8月12日

【四半期会計期間】 第72期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

【会社名】 京極運輸商事株式会社

【英訳名】 Kyogoku unyu shoji Co., Ltd

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山谷 純

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋浜町一丁目2番1号

【電話番号】 東京03(5825)7131

【事務連絡者氏名】 代表取締役常務 羽生 康秀

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋浜町一丁目2番1号

【電話番号】 東京03(5825)7131

【事務連絡者氏名】 代表取締役常務 羽生 康秀

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 会計期間 | 第71期 第1四半期 連結累計期間 | | 第72期 第1四半期 連結累計期間 | | 第71期 | |
|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------|-------------------------|
| | 自 至 | 平成22年4月1日 平成22年6月30日 | 自 至 | 平成23年4月1日 平成23年6月30日 | 自 至 | 平成22年4月1日 平成23年3月31日 |
| 売上高 (千円) | | 2,070,385 | | 2,210,193 | | 8,557,116 |
| 経常利益 (千円) | | 26,784 | | 7,230 | | 106,074 |
| 当期純利益又は 四半期純損失() (千円) | | 48,444 | | 11,711 | | 18,780 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | | 1,578 | | 133,191 | | 113,326 |
| 純資産額 (千円) | | 2,456,532 | | 2,606,752 | | 2,577,624 |
| 総資産額 (千円) | | 6,060,261 | | 6,434,120 | | 6,196,923 |
| 1株当たり当期純利益金額 又は四半期純損失金額() (円) | | 15.18 | | 3.67 | | 5.88 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | | | | | | |
| 自己資本比率 (%) | | 40.4 | | 40.4 | | 41.4 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額について、第71期は潜在株式が存在しないため、また、第71期第1四半期連結累計期間及び第72期第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第71期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
5. 第71期第1四半期連結累計期間における四半期純損失の主な要因は、資産除去債務会計基準の適用に伴う特別損失の計上によるものであります。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(貨物自動車運送事業)

吸収合併による消滅：京浜京極運送株式会社

平成23年6月1日付けにて当社を存続会社、京浜京極運送株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により大きな打撃を受けました。一部には回復の兆しも見られますが、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響に加え、欧州の財政不安や米国経済の先行き懸念など、経済環境は依然として不透明な状況が続いております。

物流業界におきましても、震災の影響により落ち込んだ輸送量の回復が遅れており、更に燃料費の高騰など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした環境のなか、当社グループにおきましては、採算管理と営業力の強化に努めてまいりました。その結果、売上高は2,210百万円と前年同四半期と比べ140百万円(6.8%)の増収となりました。

次に損益面につきましては、諸経費の削減に努めたものの、売上総利益率の高い事業における売上高の減少や世界的な原油価格の高騰による燃料費の増加等により、営業損失は6百万円(前年同四半期営業利益10百万円)となりました。なお、受取配当金の増加により経常利益は7百万円(前年同四半期経常利益27百万円)となりましたが、震災の影響によるリース資産解約等により、四半期純損失は12百万円(前年同四半期純損失48百万円)となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

石油・ドラム缶等販売事業

石油販売においては、販売平均単価の上昇による増収、またドラム缶等販売においては、新缶・更生缶販売及び配送が順調に推移したものの、仕入費も増加し、結果として売上高は844百万円と前年同四半期と比べ79百万円(10.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は14百万円と前年同四半期と比べ4百万円(21.5%)の減益となりました。

貨物自動車運送事業

震災の影響により、輸送量は取引先毎に異なるものの、全体としては大きく減少しました。また修繕費や有料道路代等の諸経費が増加し、更に想定を超えた燃料費の高騰もあり、売上高は840百万円と前年同四半期と比べ22百万円(2.6%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は31百万円と前年同四半期と比べ14百万円(30.9%)の減益となりました。

港湾運送及び通関事業

震災の影響による輸出取扱量の低迷や昨年来から引続いている円高にもかかわらず売上水準はほぼ変わらなかったものの、利益率の低い取引きの増加等で利益率が悪化し、売上高は142百万円と前年同四半期と比べ1百万円(0.7%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1百万円と前年同四半期と比べ5百万円(80.4%)の減益となりました。

倉庫事業

主要取引先の生産調整等があり、取扱量は減少したものの、徹底したコスト削減に努めた結果、売上高は120百万円と前年同四半期と比べ11百万円(8.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は14百万円と前年同四半期と比べ1百万円(6.1%)の増益となりました。

タンク洗滌・修理事業

震災により被災したタンク設備の復旧作業や、火力発電設備の修復受注等があり、売上高は264百万円と前年同四半期と比べ94百万円(54.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は10百万円と前年同四半期と比べ3百万円(57.0%)の増益となりました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 12,000,000 |
| 計 | 12,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成23年8月12日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 3,200,000 | 3,200,000 | 大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数は100株でありま す。 |
| 計 | 3,200,000 | 3,200,000 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成23年6月30日 | | 3,200,000 | | 160,000 | | 1,072 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------------|-------------------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 3,600 | | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| | (相互保有株式) 普通株式 10,000 | | 同上 |
| 完全議決権株式(その他) (注)1 | 普通株式 3,183,400 | 31,834 | 同上 |
| 単元未満株式(注)2 | 普通株式 3,000 | | 同上 |
| 発行済株式総数 | 3,200,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 31,834 | |

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が300株(議決権3個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄には、当社保有の自己株式81株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|------------------------|-------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 京極運輸商事株式会社 | 中央区日本橋浜町1-2 -1 | 3,600 | | 3,600 | 0.11 |
| (相互保有株式) 株式会社弥生京極社 | 横浜市鶴見区小野町45 | 10,000 | | 10,000 | 0.31 |
| 計 | | 13,600 | | 13,600 | 0.42 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 868,538 | 969,137 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,511,282 | 1,513,637 |
| リース投資資産 | 10,302 | 12,723 |
| 商品 | 12,626 | 14,941 |
| 原材料及び貯蔵品 | 34,566 | 26,283 |
| 半成工事 | 39,781 | 86,722 |
| 繰延税金資産 | 51,791 | 51,485 |
| その他 | 118,535 | 115,389 |
| 貸倒引当金 | 8,648 | 5,334 |
| 流動資産合計 | 2,638,773 | 2,784,983 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 2,965,933 | 2,966,112 |
| 減価償却累計額 | 2,167,548 | 2,182,595 |
| 建物及び構築物（純額） | 798,385 | 783,517 |
| 機械及び装置 | 342,956 | 352,505 |
| 減価償却累計額 | 262,005 | 264,171 |
| 機械及び装置（純額） | 80,951 | 88,334 |
| 車両運搬具 | 2,168,927 | 2,126,551 |
| 減価償却累計額 | 1,982,587 | 1,941,343 |
| 車両運搬具（純額） | 186,340 | 185,208 |
| 土地 | 1,251,288 | 1,254,407 |
| リース資産 | 295,922 | 312,569 |
| 減価償却累計額 | 75,069 | 88,690 |
| リース資産（純額） | 220,853 | 223,879 |
| その他 | 193,174 | 196,175 |
| 減価償却累計額 | 163,669 | 164,413 |
| その他（純額） | 29,505 | 31,762 |
| 有形固定資産合計 | 2,567,322 | 2,567,107 |
| 無形固定資産 | 9,685 | 9,481 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 778,262 | 862,574 |
| リース投資資産 | 34,943 | 44,144 |
| その他 | 172,911 | 170,339 |
| 貸倒引当金 | 4,973 | 4,508 |
| 投資その他の資産合計 | 981,143 | 1,072,549 |
| 固定資産合計 | 3,558,150 | 3,649,137 |
| 資産合計 | 6,196,923 | 6,434,120 |

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 902,529 | 968,887 |
| 短期借入金 | 900,645 | 945,135 |
| リース債務 | 63,970 | 69,886 |
| 未払費用 | 164,946 | 274,672 |
| 未払法人税等 | 18,040 | 13,594 |
| 賞与引当金 | 96,596 | 48,700 |
| 資産除去債務 | 5,251 | 5,251 |
| その他 | 169,928 | 190,878 |
| 流動負債合計 | 2,321,905 | 2,517,003 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 374,000 | 363,500 |
| リース債務 | 216,967 | 226,794 |
| 繰延税金負債 | 1,245 | 34,050 |
| 退職給付引当金 | 553,860 | 545,002 |
| 役員退職慰労引当金 | 50,534 | 40,618 |
| 資産除去債務 | 64,501 | 64,628 |
| その他 | 36,287 | 35,773 |
| 固定負債合計 | 1,297,394 | 1,310,365 |
| 負債合計 | 3,619,299 | 3,827,368 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 160,000 | 160,000 |
| 資本剰余金 | 4,995 | 4,995 |
| 利益剰余金 | 2,310,974 | 2,289,673 |
| 自己株式 | 2,669 | 2,698 |
| 株主資本合計 | 2,473,300 | 2,451,970 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 94,344 | 144,819 |
| その他の包括利益累計額合計 | 94,344 | 144,819 |
| 少数株主持分 | 9,980 | 9,963 |
| 純資産合計 | 2,577,624 | 2,606,752 |
| 負債純資産合計 | 6,196,923 | 6,434,120 |

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 2,070,385 | 2,210,193 |
| 売上原価 | 1,928,999 | 2,099,224 |
| 売上総利益 | 141,386 | 110,969 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費 | 5,316 | 5,576 |
| 一般管理費 | 126,033 | 111,642 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 131,349 | 117,218 |
| 営業利益又は営業損失() | 10,037 | 6,249 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 56 | 38 |
| 受取配当金 | 11,061 | 14,266 |
| 営業車両売却益 | - | 1,352 |
| 持分法による投資利益 | 1,089 | - |
| 補助金収入 | 6,341 | 3,399 |
| 軽油引取税交付金 | 1,670 | 1,632 |
| その他 | 2,614 | 2,503 |
| 営業外収益合計 | 22,831 | 23,190 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,084 | 5,075 |
| 持分法による投資損失 | - | 4,104 |
| その他 | - | 532 |
| 営業外費用合計 | 6,084 | 9,711 |
| 経常利益 | 26,784 | 7,230 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,040 | - |
| その他 | 72 | - |
| 特別利益合計 | 1,112 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 4,895 | 55 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 58,083 | - |
| 災害による損失 | - | 4,930 |
| 特別損失合計 | 62,978 | 4,985 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 35,082 | 2,245 |
| 法人税等 | 13,267 | 13,873 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 48,349 | 11,628 |
| 少数株主利益 | 95 | 83 |
| 四半期純損失() | 48,444 | 11,711 |
| 少数株主利益 | 95 | 83 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 48,349 | 11,628 |

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|------------------|---|---|
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 40,523 | 136,059 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 6,248 | 8,760 |
| その他の包括利益合計 | 46,771 | 144,819 |
| 四半期包括利益 | 1,578 | 133,191 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,606 | 133,065 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 28 | 126 |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

| | |
|--|---|
| 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | |
| 連結の範囲の重要な変更 | 当第1四半期連結会計期間において、京浜京極運送株式会社を吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

| | |
|--|--|
| 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | |
| 税金費用の計算 | 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 |

【追加情報】

| | |
|--|--|
| 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | |
| 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 | |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社が実行する借入等に対して保証を行っております。

| 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) | |
|-------------------------|----------|------------------------------|----------|
| サンドラム(株) | 15,000千円 | 日本容器(株) | 15,000千円 |
| (株)ベイトランスポート | 2,110千円 | (株)ベイトランスポート | 1,758千円 |
| 計 | 17,110千円 | | 16,758千円 |

(注) サンドラム株式会社は、平成23年4月1日付で日本容器株式会社と合併し、現在は日本容器株式会社に商号変更しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 37,728千円 | 46,922千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 9,590 | 3 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月30日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 9,589 | 3 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月30日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|-------------------|--------------|-----------|------------|---------|------------|-----------|
| | 石油・ドラム缶等販売事業 | 貨物自動車運送事業 | 港湾運送及び通関事業 | 倉庫事業 | タンク洗滌・修理事業 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 765,600 | 862,266 | 141,079 | 130,735 | 170,705 | 2,070,385 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 78,579 | 34,359 | 152 | 275 | 276 | 113,641 |
| 計 | 844,179 | 896,625 | 141,231 | 131,010 | 170,981 | 2,184,026 |
| セグメント利益 | 17,198 | 44,994 | 6,529 | 13,335 | 6,124 | 88,180 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 88,180 |
| セグメント間取引消去 | 23 |
| 全社費用(注) | 78,166 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 10,037 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|-------------------|--------------|-----------|------------|---------|------------|-----------|
| | 石油・ドラム缶等販売事業 | 貨物自動車運送事業 | 港湾運送及び通関事業 | 倉庫事業 | タンク洗滌・修理事業 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 844,350 | 839,936 | 142,052 | 119,633 | 264,222 | 2,210,193 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 91,186 | 24,887 | | 238 | 363 | 116,674 |
| 計 | 935,536 | 864,823 | 142,052 | 119,871 | 264,585 | 2,326,867 |
| セグメント利益 | 13,504 | 31,107 | 1,282 | 14,147 | 9,615 | 69,655 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|--------------------|--------|
| 報告セグメント計 | 69,655 |
| セグメント間取引消去 | 34 |
| 全社費用(注) | 75,938 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失() | 6,249 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

京浜京極運送株式会社の吸収合併

当社は平成23年2月24日の取締役会において、100%出資子会社である京浜京極運送株式会社を吸収合併する旨の決議を行い、平成23年6月1日付けにて合併いたしました。

1 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

名称 京浜京極運送株式会社

事業の内容 一般貨物自動車運送事業

(2) 企業結合日

平成23年6月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、京浜京極運送株式会社を消滅会社とする吸収合併方式であります。また、当社100%出資子会社との合併のため、新株式及び合併交付金の支払いはありません。

なお、消滅会社である京浜京極運送株式会社は新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

(4) 合併後企業の名称

京極運輸商事株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

吸収合併の目的

京浜京極運送株式会社は当社の100%出資子会社であり、主に当社の港湾運送部門の配送業務を受託し、トレーラによる海上コンテナ輸送とトラックによる配送業務を中心に行ってまいりました。

このたび、管理部門を統合し、経営の効率化を図るため、吸収合併いたしました。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行いました。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

| 項目 | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額() | 15円18銭 | 3円67銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純損失金額()(千円) | 48,444 | 11,711 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純損失金額()(千円) | 48,444 | 11,711 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 3,191,948 | 3,191,756 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月 8日

京極運輸商事株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 茂木 浩之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中原 健 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている京極運輸商事株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、京極運輸商事株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。